

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科				
科目名称	英語Ⅱ				授業形態	演習			
科目コード	141800	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	水島 孝司							ICT活用	
授業概要	この授業では、TOEICテストの初級・中級者向けであるTOEIC Bridgeテストの特徴、出題形式を理解し、スコアアップに必要な英語運用能力を身につけることを目的とする。TOEIC Bridgeテストで55～60点を旨指す上で基礎となる文法、語彙、リスニングを中心に学ぶ。								
関連する科目	英語Ⅰ								
授業の進め方と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業は教科書に沿って進める。原則として、1回の授業で1つのユニットをこなす。</li> <li>・ 第3回から第14回までは、毎回の授業で小テスト（単語・文法）を実施する。</li> <li>・ 授業のはじめに、トレーニングのコツ（Training Tips）を説明し、その後、問題を解き、解説をする。</li> <li>・ 復習の成果（Training Tips）をペアワーク、グループワークで確認するので、積極的に参加してほしい。</li> </ul>								
授業計画【第1回】	オリエンテーション 授業の概要、評価方法、教科書を使った予習のしかたなどについての説明。								
授業計画【第2回】	Unit 1 L: 身の回りの物・場所の名称    R: 同一品詞の語彙問題（動詞）								
授業計画【第3回】	Unit 2								
授業計画【第4回】	Unit 3								
授業計画【第5回】	Unit 4								
授業計画【第6回】	Unit 5								
授業計画【第7回】	Unit 6								
授業計画【第8回】	Unit 7								
授業計画【第9回】	Unit 8								
授業計画【第10回】	Unit 9								

授業計画【第11回】	Unit 10
授業計画【第12回】	Unit 11
授業計画【第13回】	Unit 12
授業計画【第14回】	Unit 13
授業計画【第15回】	TOEIC Bridgeテストの受験
授業の到達目標	①TOEIC Bridgeテスト55～60点を取得するのに必要な英語運用能力を身につける。【汎用的技能】 ②リスニング、およびリーディングの出題傾向についての理解を深め、問題を解くスピードを上げることができる。【汎用的技能】 ③自律的かつ継続的に学習する習慣を身につける。【態度・志向性】
学位授与の方針(DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	・指定範囲の単語・英文を覚えて、小テストに備える。(60分程度)
授業時間外学習【復習】	・新しく習った単語・文法を復習し、確認する。(30分程度)
課題に対するフィードバック	・小テストの採点結果を踏まえて、翌週の授業で語法・文法等について解説を行う。
評価方法・基準	期末試験(60%)、小テスト(30%)、TOEIC Bridge®テストのスコアの伸び(10%)
テキスト	「TOEIC Bridgeで学ぶ入学生基礎英語」 高山芳樹 著 南雲堂 発行
参考書	「TOEIC Bridge公式ガイドブック」(国際ビジネスコミュニケーション協会編著、2019年)
備考	